

通信教育と生涯学習に関するアンケート

公益社団法人日本通信教育振興協会
アンケート調査委員会

アンケートの目的

生涯学習センター等生涯学習の現場で学ぶ者たちに対応している担当者の方々が、通信教育という学習スタイルをどう認識しているのか、また当協会認定の学習指導員が地域で活動する際に、施設側の対応はどのようになっているのかを調査することが主要な目的である。

実施日	2023年4月26日（水）	
回答締切	2023年5月31日（水）	
対象	全国の生涯学習センター、交流センター、公民館、教育委員会等	
対象数	合計 512 施設	
	郵便不着	9
回収数	39	
回収方法	郵便	36
	FAX	3
回収率	7.60% （=39/512*100）	

集計結果

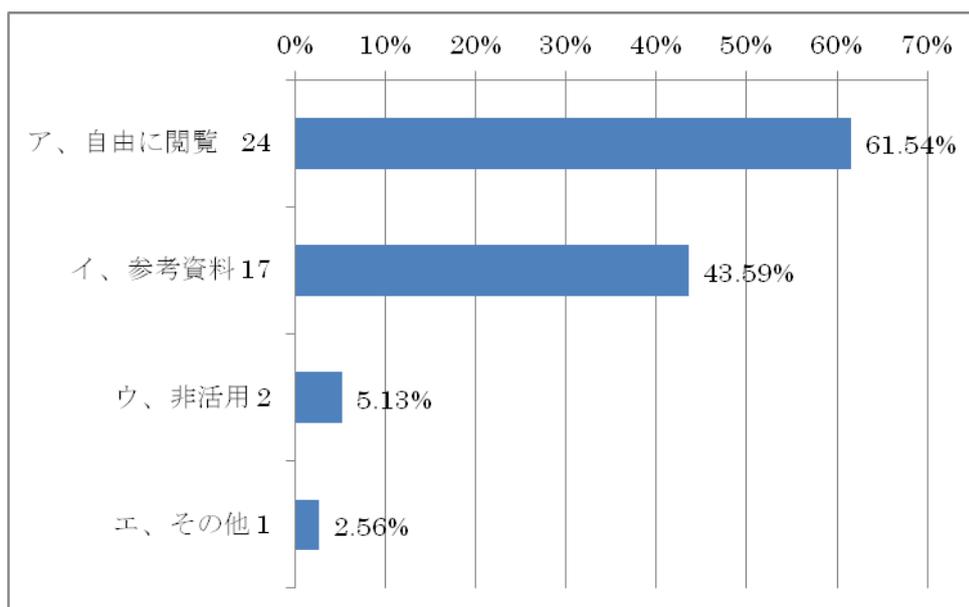
質問項目

1. 「ご案内」の活用方法

当協会から毎年送付している「生涯学習奨励講座&優良受験指導講座のご案内」を貴所ではどのように活用していただいていますか。あてはまるものに☑を付けてください。(複数回答可)

- ア：陳列棚等において自由に閲覧
- イ：担当者の参考資料として利用している。
- ウ：活用をしていない
- エ：その他

回答結果 回答数 39 複数回答あり



質問項目

2. 通信教育についての問い合わせの有無

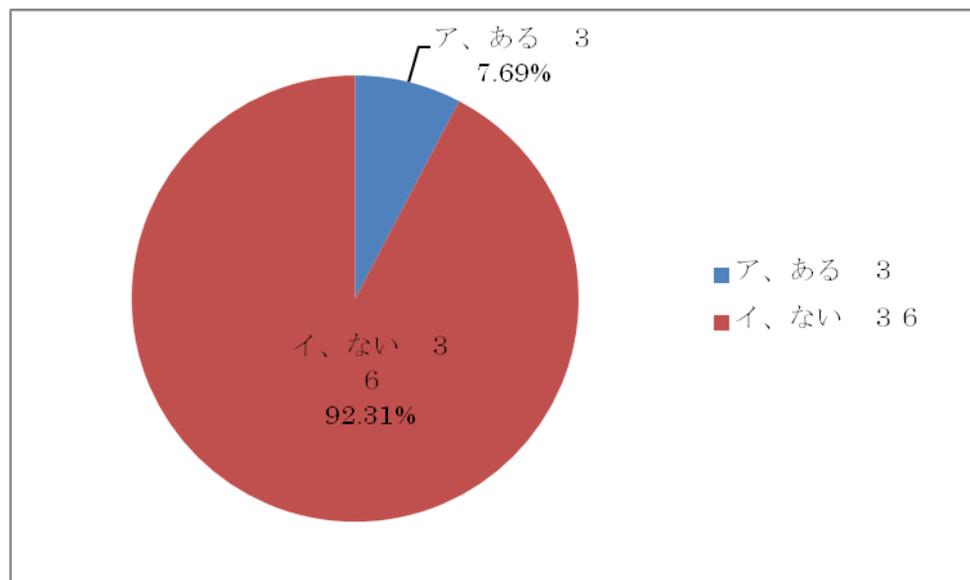
貴所において、様々な学習相談がある中で、通信教育に関する問い合わせがありますか。あてはまるものに☑を付けてください。

- ア：ある

それはどのような内容ですか(学びたい分野の通信講座の紹介、通学教室と通信講座の長所短所の説明など)

イ：ない

回答結果 回答数 32



- 連 「ある」と回答したなかで、具体的な内容を答えた者が3件あった。
- ・ 学習方法の中に通信教育もあるというレベル
 - ・ 案内(チラシ等)について
 - ・ 月1回生涯学習相談員が来館し、来館者の相談にのっている

質問項目

3. 地域の生涯学習振興への通信教育の役割

いつでも、どこでも、誰もが学べる通信教育は、生涯学習社会における果たす役割も大きなものかと思われま。貴地域における生涯学習振興のために住民の方々に大いに紹介していただきたいと考えます。

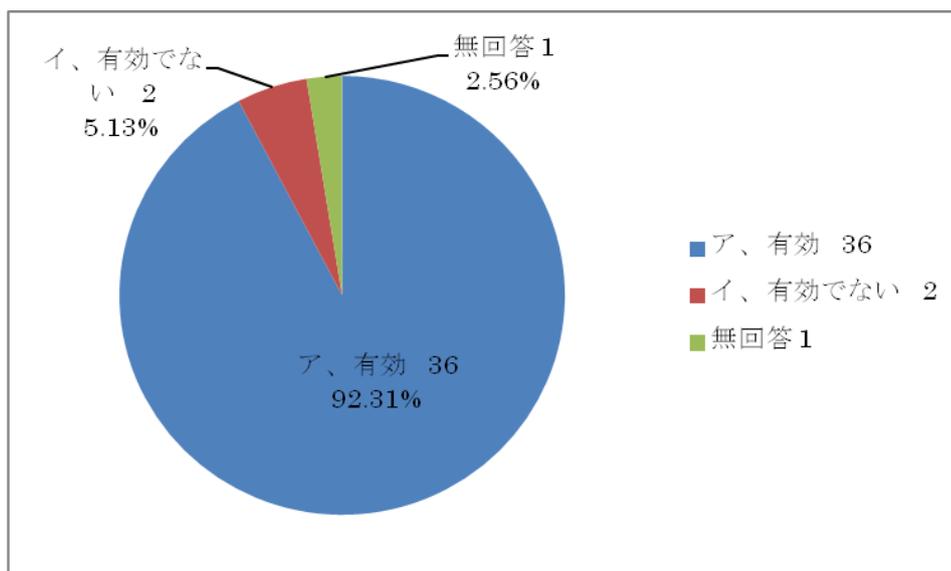
あなたは、通信教育での学習は大いに有効であるとお考えですか。あてはまるものに を付けてください。

ア：有効である

イ：有効ではない

(その理由 _____)

回答結果 回答数 38 無回答 1



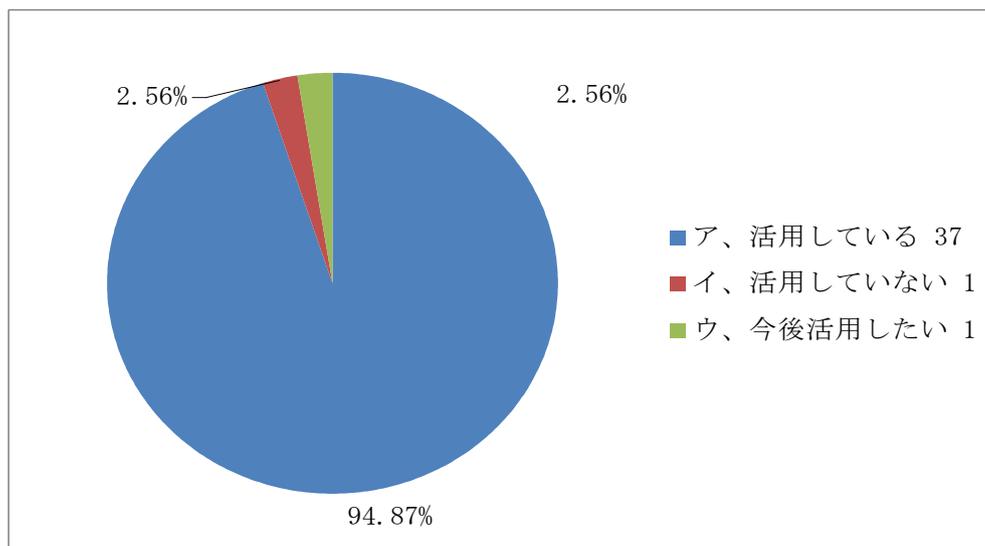
質問項目

4. 住民の講師活用

貴地域においては、行政の主催する出前講座等の他に、公民館や生涯学習センター、教育委員会などで様々な講座を開講されていらっしゃるかと存じ上げますが、講師の採用に当たっては、専門的な知識・技能を有する住民の方々を講師として活用されていますか。あてはまるものに☑を付けてください。

- ア：活用している
- イ：活用していない
- ウ：今後、活用したい

回答結果 回答数 39



質問項目

5. 講師の養成

貴所では、市民講師養成講座やボランティア講師養成講座など特別な講師養成のための機会を設けていますか。あてはまるものに☑を付けてください。

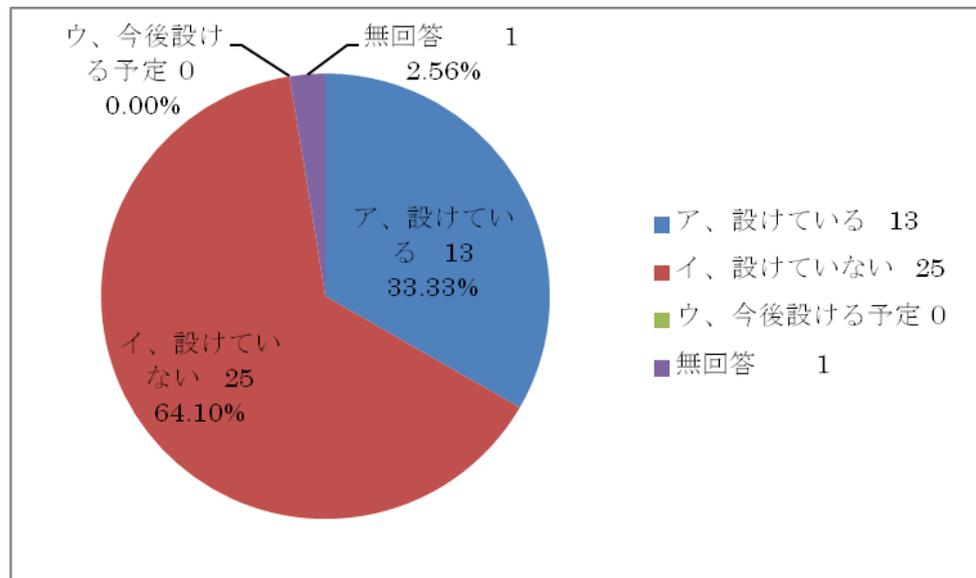
ア：設けている

それはどのような内容ですか。

イ：設けていない

ウ：今後設ける予定

回答結果 回答数 38 無回答 1



アの設けていると答えた者のうち、具体的な内容を答えた者が8件あった

	内容
1	ボランティア研修会(若者向け)
2	日本語指導ボランティア養成講座
3	講座の企画運営方法を学ぶなど
4	市民による「ご近所先生企画講座」
5	観光ボランティアガイド養成講座
6	ネイチャーゲームリーダー養成講座
7	ボランティア講師などのチラシを配架している
8	生涯学習セミナー、生涯学習成果活用講座

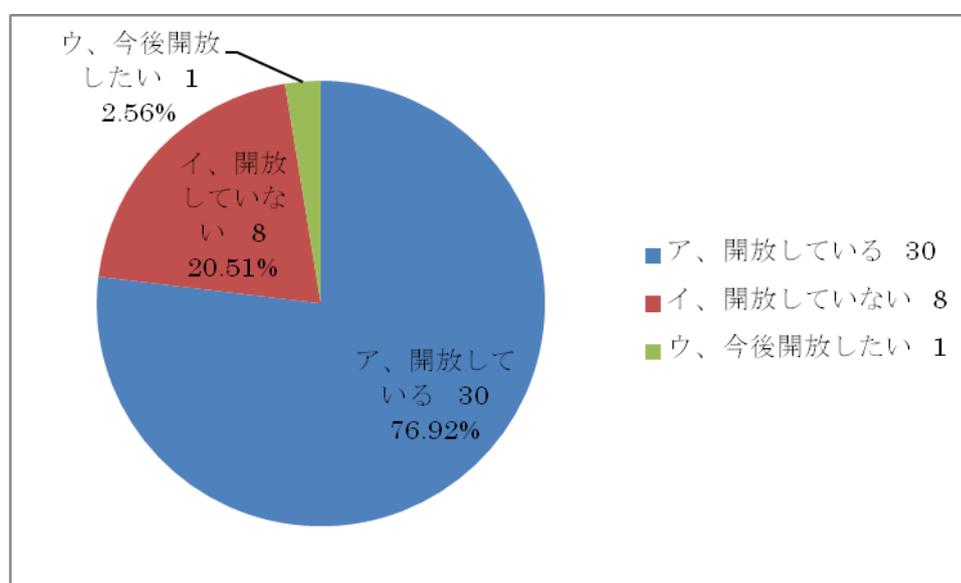
質問項目

6. 施設の開放

貴所においては、住民の方々の自発的な学習活動に教室や会議室等のスペースを開放していますか。あてはまるものに☑を付けてください。

- ア：開放している
- イ：開放していない
- ウ：今後開放したい

回答結果 回答数 39



質問項目

7. 地域住民の望む講座テーマ

地域の方々はどのようなテーマの教室や講習を望んでいますか。望まれているものがありましたらその内容をご記入ください。

回答結果

地域の方々がどのようなテーマの講座や教室の開設を望んでいるのか、生涯学習担当者に質問したところ14名から回答があり、合計34講座が挙げられた。18名は無回答であった。挙げられたテーマは以下の通りである。

		テーマ	内容
1	(IT)	スマホ教室	
2		スマホ教室	スマホの安全な便利な使い方
3		パソコン教室	
4		プログラミング	入門のような基本が分かる講座
5		情報発信(SNS,HP)	サークル等で SNS や HP を使った広報が出来るようになる講座
6	(教養)	教養・芸能	歴史・ふるさと・伝統
7		寺子屋教室	親子で参加できる体験活動
8		教養を高めるもの	自然科学、人文等多様
9		自然体験・生活体験	企業見学、街歩き、自然体験
10		社会問題・社会活動	社会時事、地域活動、環境
11	(暮らし)	高齢者の住まい	最適な終の住処を考える
12		料理→子供単独 or 親子参加	地元の食材で作る料理など
13		料理教室	実際に調理し食事する
14		パンづくり教室	
15		アウトドアで役に立つこと	毒のある野草、毒虫への対処法
16		終活	
17		終活	相続の問題等
18		シニア自然塾	自然や歴史、陶芸、手打ちうどんなどシニア世代が体験する
19		老人の生活(暮らし)に役立つ事	
20		相続	
21		発酵食品を使った健康増進法	具体的なレシピをもとに、健康増進に役立つ発酵食品の紹介
22	(語学)	語学	英、韓等の語学
23	(趣味)	筆文字アート講座	筆ペンや絵の具で描くアート書画
24		親子釣り教室	釣りインストラクターの指導により釣りの基本を学ぶ
25		木工・DIY	実際に作業し、何か作品を作る
26		ものづくり	フラワーアレンジメント、寄せ植え
27	(スポーツ)	親子登山	安全で楽しい登山について学ぶ
28		健康・スポーツ・家庭生活	健康法・ウォーキング
29		スポーツ・運動	ニュースポーツ

30		わくわくスポーツ講座	軽スポーツを通じて健康・体力に維持に 努め生きがいの高揚を図る
31		指導者による無料の体操	
32	(歴史)	歴史	NHK 大河ドラマに沿う内容
33		歴史・文化	郷土史
34		地域の歴史を学ぶ講座	町歩きをしながら町を見つめ直す
35		歴史講座	まち歩き etc
36		地域学講座	地域の歴史、自然、文化などについて 学ぶ
37		地元の歴史について	
38		郷土について知る	郷土史ほか
39		町内遺跡学セミナー	見て聞いて歩いて町内の遺跡、史跡を 学ぶ
40	(健康)	健康のためのエクササイズ	ストレッチ、ヨガ等
41		心身の健康増進	
42		健康に関する教室	
43		認知症	認知症防止の講座
44		健康料理教室	
45		健康	認知症の発見と対策
46	健康	認知症予防	
47	その他	各世代の課題対応	

質問項目

8. ICT の活用状況

貴所では生涯学習活動のために、ICT(情報通信技術)を活用していらっしゃいますか。
具体的には、インターネットの活用、電子教材を使つての学習、メールやアプリでお
仲間との交流、パソコンやタブレット、携帯端末からアクセスできる学習システムな
どのことをいい、今後の学習スタイルの主流となると考えられています。学校教育で
は盛んに導入が始まっていますが、生涯学習の分野ではこれからといった状況です。

あてはまるものに☑を付けてください。

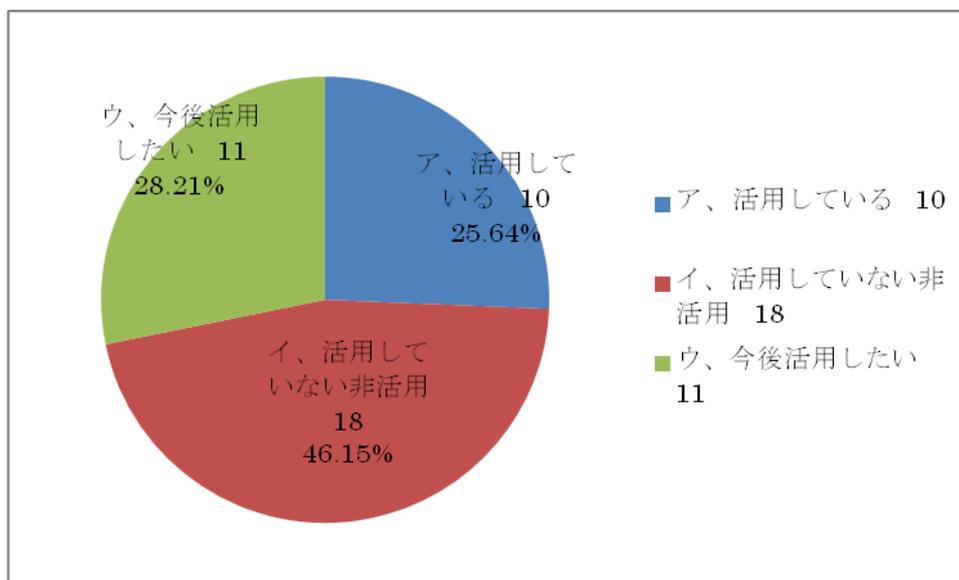
ア：活用している

具体的には _____

イ：活用していない

□ ウ：今後活用したい

回答結果 回答数 39



「ア」の回答の中で、具体的な活用の仕方に回答したものは 10。その内容は以下の通りである。

	内容
1	アプリでの情報連絡・交流
2	ホームページでの催し物の情報提供、施設予約システム(空き状況の閲覧のみ)
3	スマホ講座、プログラミング教室
4	一部の講座でオンライン講座を実施
5	一部の講座を youtube で動画配信
6	講座のオンライン配信
7	ICT スキルアップ研修会等を通じたオンライン配信の研修など
8	Zoom によるセミナー等
9	ホームページなど
10	講座のオンライン配信

質問項目

9. 学校や地域との連携

文部科学省では、学校・家庭・地域住民が一体となって地域ぐるみで子供を育てる体制を整えるための「学校支援地域本部事業」や、土曜日の豊かな教育環境の実現のために官民協働による「土曜日教育ボランティア運動」などを推進していますが、これらの事業にどのように関わっていますか。あてはまるものに☑を付けてください。

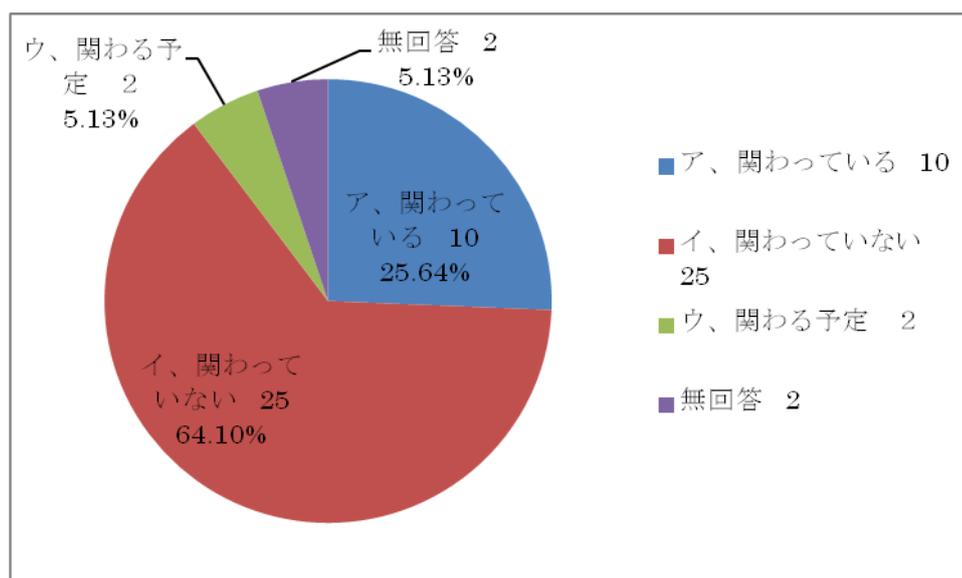
ア：関わっている

その内容_____

イ：関わっていない

ウ：今後関わる予定

回答結果 回答数 37 無回答 2



「ア」の回答の中で、具体的な内容を答えた者は10件。内容は以下の通りである。

	内容
1	学校支援地域本部事業、各種ボランティア活用事業・講座
2	市独自の事業を立ち上げている(ふるさと井原の未来を創る人づくり事業)
3	地域学校協働活動
4	家庭教育学級
5	学校支援地域本部事務局
6	放課後の学習支援(地域未来塾)など
7	地域学校協働活動推進員(コーディネーター)研修会、学校と地域の連携・協働研修会の実施
8	チラシの配架
9	学校応援団事業(鹿屋市教育委員会)
10	GW など祭日が続くとき、帯域刊施設を無料開放している